

J R東海会社として すべきは何か それはただちに 間引き運転 を実施することです

菅総理大臣は昨夜、福島原発が憂慮すべき事態に至っている、したがって東京電力による計画的停電の実施を了承したことを明らかにし、節電への協力を各産業界、国民に呼びかけました。

ここで私たちは、J R東海と私たちに何が出来るのかを具体的に考え、具体的に行動していかなければならないと思います。私たち一人ひとりが出来ることは限られていますが、家庭や地域での節電の努力をすることは当然です。

組合員のみなさん 全所員のみなさん
出来ることを全てやりましょう

その上にたって、菅総理大臣の産業界への呼びかけに対して、どう応えるのかもJ R東海の社員として考えなければならないと思います。

J R東海労 東二運分会は訴えます

山田社長の冷静な判断による、東海道新幹線の最低でも、間引き運転 をすることを訴えます。

確かに間引き運転は、お客様へのご不便をお掛けすることを意味しますし、日本経済の動脈の一つでもあり大きな打撃を与えるかもしれません。

しかし、電力不足が引き起こす社会全体の不安解消を最優先することが、J R東海に課せられた大きな社会的責任の一つだとも思います。

J R東二運分会は、ただちに東海道新幹線の
間引き運転 の実施を求めます